

自主運行バスの路線を見直し、7月よりダイヤ改正へ

袋井駅舎改築事業動き出す、7月の工事協定締結目指す

2月3日開催、市議会全員協議会報告

袋井市自主運行バスの路線見直し（案）

旧袋井市では平成14年1月から交通空白地区解消や高齢者など交通弱者の足の確保を目的に「フーちゃん号」が運行を開始しました。

利用者から好評を得ていながら、平成21年11月から経費削減を主目的に午後の便を隔日にするなどの改悪により利用者が激減していました。この間市民からは、「路線が複雑で解かりにくい」「行きは良くても帰りの便がない」「駅まで行けなくなった」「時間がかかりすぎる」など多くの不満が寄せられてきました。

市も利用者激減の結果に問題点を再検討。ダイヤ改正の検討をすすめてやっと今回の「見直し案」を提示となりました。

見直し案は、「わかりやすい」「利用しやすい」路線を基本に、隔日運行を廃止、往復を基本とした運行、4路線すべてを袋井駅で結節する、などとしています。

新路線（案）は

- ① 三川・今井線、三川—市民病院—今井—袋井駅（所要時間1時間10分）
- ② 宇刈・袋井東線、宇刈—市民病院—袋井東—袋井駅（所要時間1時間10分）
- ③ 浅羽南・西・袋井駅線、豊住—浅羽支所—田原—袋井駅（所要時間1時間）
- ④ 笠原・袋井駅線、笠原—浅羽支所—袋井駅（所要時間1時間8分）

今後、各種手続きを進め今年7月から改正したダイヤによる運行を開始する予定です。

養護老人ホーム『可睡寮』指定管理者の管理運営について（中間報告）

退所者の預金通帳や定期預金証書がそのままになっているなどの事務処理のずさんな点や、他の施設で使っている車両のリース代金が負担となっているなど会計の問題点が明らかとなり是正を求めるとともに責任ある回答を求めています。市の管理責任と指定管理制度の問題点が明らかとなった懸案です。

山科東工業団地分譲方針の見直し

平成19年に造成工事に着手。全体面積では97,806㎡ありますが、道路・調整池を除く分譲区画は2区画（上段が5,6000㎡、下段は24,000㎡）です。当初は製造業もしくは研究所など先進的かつ発展的な企業を対象に「全体一括分譲」又は2区画での分譲の方針でしたが、リーマンショック後の厳しい経済状況の中引き合いもなく、今回、市内企業育成の観点から下段の区画を最小購入面積の条件を付け分割分譲を可能と変更するものです。

袋井駅南北自由通路新設及び橋上駅舎化事業の状況

昨年8月の市とJR東海との「覚え書き」締結の後、都市計画決定の手続きを進めており、合わせてJRとの工事協定の協議をすすめているとのこと。一連の手続きの進捗状況を見て今年7月の工事協定締結を目指すとの方針が示されました。工事協定締結には議会の議決が必要となるため6月定例会に関係議案が上程されることとなります。また、2月議会に上程される23年度予算案に詳細設計費用の債務負担行為や周辺工事の設計費、撤去・移転する施設の補償費などが計上される見通しです。

本事業は平成19年6月にJR東海といたんは覚書を締結しましたが、その後国と各鉄道会社との間で「自由通路の整備費用・管理の要綱策定」の協議により中断していました。3年遅れの再スタートとなり、供用開始は26年度中となる見込みです。

高橋よしひろの議会活動通信

2011年2月4日号

袋井市大谷245TEL・FAX(48)6100

E-mail:wbs35910@mail.wbs.ne.jp

<http://www.yoshihiro-takahashi.net>

ブログ更新中！お気軽にアクセスして下さい。